

同女大生らがお化け屋敷

18日 京田辺 キララ商店街で

同志社女子大学の学生らが同市シルバー人材センターとタッグを組み18日、京田辺市のキララ商店街でお化け屋敷を開催する。市の活性化と世代間交流を図り、これまでになかった何か新しいものを——と生み出した答えは、高齢者がお化け役となり驚かせるという斬新なもの。戦慄(せんりつ)の屋敷へ、広く来場を呼び掛けている。



呪老

雰囲気ありすぎのお化け役

高齢者 特殊メイクで登場

お化け屋敷といえど、若い人がお化け役や老婆を演じたりするが、「呪老(じゆらう)ゆらう」と名付けられたこの屋敷では、シルバーが驚かせ役。平均年齢70歳、最高齢80歳と、驚かされるより下手したら命の危険がある人たちが逆襲する。恐怖しか感じない。



来場を呼び掛ける「こねくたーず!」の広報担当者

舞台演出や脚本などを行う「舞台芸術創造団体ワンダラー・ファクトリー」(高寄こす枝代表)が協力し、特殊メイクを施す。「ノーマイクでも十分」と意気込むシルバーたちは白塗りし、目の下のクマを強調するなど、よりリアルに近付ける。舞台は、同商店街の空き店舗を使用。放置されたガタがきており、そのままでも雰囲気があるところ。さらに大阪成蹊大学の学生が衣装やインテリアを手掛けた。シルバーや商店街を巻き込み、イベントを企画するのは同女大情報メディア学科で「eコマース研究」の授業を選択する学生ら。玉井愛理さんを代表(社長)に、5人がパーチャルカンパニー「こねくたーず」を立ち上げた。玉井社長らは、幅広い世代が楽しめる交流できる場を創出しようとの企画を立案。「同市のシルバーの方は思ったより元気で若く、パワーでやる気満々」と期待を膨らませる。「他にない斬新な企画。新発想・新感覚のお化け屋敷は、リアルに怖いのでなめていたら大変なことになり。涼しくなり始めたこの時期、もっと寒くなりたい人は、ぜひお越しください」と意味深な笑みを浮かべている。無事ゴール地点にたどり着くと、専用のフレイムが用意され、インスタ映えする写真が撮れる。「お化け屋敷行っちゃよ」と、SNSなどで発信してみてもナニか写ってはいかないモノが写っていないかもシレナイガ! 夜のとりが下り始める午後4時に、屋敷の扉は開く。午後8時まで。キララ商店街は、近鉄新田辺駅東側に降りて正

面。ちゃかし無しのため、入場料は500円。対象は小学生以上。2年生以下は保護者同伴でも入場不可。詳細はツイッター(@comet-tots1118)で。【谷貴生】